滿洲日報

〇報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
〇告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

〇…行情…
…布疋豆　六吊百至六吊二百
…價錢　五吊四百文至五吊
…共上車三十餘輛
…共來七十餘輛
…六吊九百至六吊八百

一七九斗紙　一全　…
一連紙　一連　一圓
一フールスカツプ　全　四圓
一中判洋紙　全　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一卷紙　四十枚紹　十四錢

一椅子　…
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戶棚　七圓五十錢以上十圓

一綿毛布　一枚　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓九十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line. Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. *Newchwang.*
Telephone No. 29.

告料
一ケ月以內　銀十五仙乃至十…
一長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社　（電話二九番）

特別廣告
▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番　支配人室　百八番　事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社　瀛船出帆廣告
山東丸　五月三日朝出帆　大沽、芝罘、門司、神戶行
相摸丸　五月八日出帆　太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　**旗昌洋行**（電話廿六番）

瀛船出帆廣告
摩耶山丸　五月三日未明門司、神戶大坂行
日海丸　五月三日門司行
金龍丸、大龍丸、國見丸　臨時芝罘定期
萬成源丸　龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社　營口瀛船出帆廣告
代理店
潮洲丸　入港乘客謝絕
汕頭丸　五月二日入港　五日出帆門司、神戶行
ブツシユ兄弟商會　東營口公園地橫
遠來洋行（電話二十三）

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需　國本主人啓

宅洋行
弊店卸賣の綿絲、粗布、綿絲布、荷花標布、ㅂ洋緞子、紋緞子、絨布、手巾、花巾、洋胰、火柴、鐘表、等皆確實廉價且信義敏活を以て商取引の秘契となし爰に名聲大に舉るに至れり豈に特に官准を得て火車營業を開設したるを以て兩者相俟て益顧客の便利を謀り彌我商の主義を貫徹せんことを期す殊に華客引接の際は別に華人宋厚田氏等あり細心懇待大に商議を便ならしめんとす乞ふ中外士商來て其詭ならざるを認め安意賜顧は幸甚
電話（店一八三番　住所五五番）
開設考爺閣街同盛德院內

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寛大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週運知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口[illegible]北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
保裝運各幫火輪船生意彙賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閲是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（摅利、）百合花牌（利利）均已馳名内外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉　諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤特此廣告

本行瀛船
摩耶山丸　顯朝丸　專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大無至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十一番）

三井洋行
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

〇**發售新到洋白糖**

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

〇**發售、日本白米、**

經理
〇**明治火險公司**
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

〇**東京水險公司**
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

自造煉瓦・瓦　並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
電話八十六番

料木杆子　一丈　一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣
捌荷洋行
營口元神廟街
（電話一四七番）

生徒募集
營口瀛華實學院　招入學生
本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歳常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寛宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名毎日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し義亡督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口　瀛華實學院

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲疊
喜久洋行
營口永世街八十號
（電話百五十二番）

鐵道遼河裕和盛運輸局
在東營口西北街旗昌洋行對門
（電話八十一號）
啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續き營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮蔵

丸重洋行　貨物運輸
啓者本行前在營口躉賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値爲貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話　營口八十番　牛家屯四拾六番

材木荒物販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望來本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東　營口南永世街北斗洋行
西　營口西北街塘子胡同內
櫃開設

上海中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有直銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂非票句棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字畫其他各件紙料一切統由本行中售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

東京電報

●大觀兵式と勅語

本日靑山練兵場に於て凱旋大觀兵式を擧行せられ之れに參加せし軍隊四萬八千陪觀者約五萬人にして實に未曾有の盛觀を呈し式場に於て　陛下より最と優渥なる勅語を賜はり大山元帥之を捧讀せり（四月卅日午后五時發）

倫敦電報

●駐清英公使と西藏條約

倫敦タイムス新聞は熱心に北京駐紮公使サトー卿が西藏條約に關し永く談判の衝に在り百難を排して成功し其大任を全くせしを祝せり

●ラエムプスの所論　ラエムプス新聞は其社說に於て佛蘭西は英國がモロツコ談判に於て某國を援助せしと同しく某國は土耳其埃及事件に於て英國を熱心に援助すへしと論せり（以上四月二十九日發電）

●西班牙王結婚日の延期　西班牙王アルフアンソとエナ內親王との御結婚日は五月三十一日に變更せられたり

●香取號備砲の威力

日本軍艦香取號は砲の威力の割合より打算すれは世界中最速力の多き戰闘艦なりクライドに於ける速力試驗の時每時間二〇、二二ノツト進行し機關力の四分の三を用ひて一七、八ノツトを進行せり是日本政府の要求以上とす

●獨逸と埃及境界問題　コルニツシエ、ツアイツング新聞のベルリン通信員の報に因れば獨逸は埃及サイナイ境界問題の如き小事件に付ては全く無頓着なりと聲明せり（以上四月三十日發電）

雜報

●對淸貿易の近狀

橫濱に於ける對淸貿易は依然銀塊相場の高直を維持し居る爲め輸出に順にして輸入に不利なるを免れず昨今輸出品として海產物の如き一般在荷の減少は相應の直段を維持し又綿布綿絲等季節なる爲め弗々商談行はれつゝあれども未だ活潑なる取引なく概して靜穩に經過しつゝあり而して輸入は大豆粕の如き春季に要する肥料類は賣行き稍增加し新規に輸入を企つるものあれども一般に本國高なると爲替取引合の爲め大口の輸入なく大豆も六月頃の需要季に接迫せざれば見るべき商談始まらざるべく其他棉花苧麻等當座用の荷動きに止まり居るもの〻如し要するに昨今對淸貿易は例年に比し一體に不振の域にあるもの〻如し

●撫順炭坑買收運動

藤田組は小坂銀山を利用して米人より外資五百萬圓を借出し撫順炭坑を買收し採掘せんとの運動を始めたるが一方には三井物產會社亦た窃に右の買收運動を開始しつゝありたる折なれば此兩者の間に井上伯の仲介するあり遂に小坂銀山利用の外資輸入の件は中止となり三井藤田の共同合資となし各二百五十万圓づゝを支出して右の撫順炭坑を買收せんと種々計畫中のよしなり

●關東州內の本邦住民　關東總督府の調査に係はる本年三月末軍政署管內に於ける本邦住民は男一万四千六百四十八人女七千九百六人にして民政署管內同男四千六百十三名女三千二百八十六人なり而して之れを營業種類別とすれば雜貨商最も多く六百七十三軒、旅館兼料理店二百八十八軒、大工職二百三十八軒、料理店兼飮食店二百三十五、木挽職百四十六、菓子小賣製造百三十五、遊戲店百九、理髮店百二十一、土木請負及用達八十八、運送業八十四、貸席七十八、賣藥店六十八、酒製造販賣店五十一なりと云ふ

●安東縣開放と淸國委員　本日より安東縣開放せらる〻につき淸國よりは營務處總辦張錫鑾氏學務局總辦錢鑅氏命せられ一昨二十九日安奉鐵道に便乘し安東縣に急行せる由は前號奉天特電の報ずる所なるが張氏は此次東邊道台として五月一日同地に赴任する筈なりしも去る二十八日趙將軍は張氏を促かして取急ぎ發程する事とせしめたる由而して張氏は爾後東邊道臺として滯任すべきも錢氏は開港事務結了次第直ちに歸奉すべしと云ふ

●營務處及警務處總辦　奉天の營務處及び警務處總辦は今確聞する所によれば張錫鑾氏東邊道臺として依然總辦の名を冒し居り實際の事務は營務處は錢副辦（錢鑅にあらず）之を署理し警務處は陳某之を署理すべしと云ふ

●練兵營務處の新設　既報の如く奉天に於ては舊來の營務處以外今回新たに練兵營務處新設せられ當省兵政の飭淸を計る由にて總辦は袁宮保の令息袁克定氏任せられ已に去月二十六日夜來奉着任したり

●奉天通信

（四月二十八日特別通信員）

▲淸國官場傭聘邦人　今日迄に已に決定して其筋の認可を經たる傭聘邦人は左の數氏にして警察局敎習として元憲兵大尉峯幸松氏仝衞生局醫員として元三等軍醫杉本浩三氏の二氏は何れも曾て當地軍政署に職を奉したるもの目下歸朝中にて不日來任すへし現に着任せるものは東亞同文書院出身の朝稻義孝南洞孝の兩氏にして傭聘の名義は小學堂敎習なるも朝稻氏は當地師範學堂に南洞氏は出洋豫備學堂に敎鞭を取りつゝあり又た昨年來當地に居住せる前田岩吉氏は普通學敎習として已に傭聘濟なるも任所未定にて或は師範學堂敎習たるへしと傳ふ同しく仝氏の夫人にして米國カリホルニヤ、ミユスカレー大學出身の米國文學士にして三十五年以來昨年迄華族女學校に敎鞭を取りたる前田茂子女史は女子師範學堂敎習に傭聘濟となりたるも該學堂は目下生徒募集中にて未た授業開始せす其他商務局に警務學堂に傭聘の內談ありて畧は決定せる邦人二三人あれとも未た發表するに至らす

▲張觀察の東邊行　當地營務處總辦にして警務處を兼接し磊落果斷の張錫鑾は安東縣の開放さるゝに付き其前任たる東邊道臺として來る五月十日赴任すへしと云ふけだし張觀察としては劇務敢て厭ふ所にあらさるも徒らに責任のみ重き營務處總辦より實收多き東邊道臺の方氣樂なるへし同氏此次の赴任は曩きに孫葆瑨か洮南府に左遷せられたるの轍にあらすして張氏自らが奉天官場を避けて東邊道臺歸任を望みたるもの〻如し而かも東邊道臺として今日其適任者を奉天官場中に求むけたし氏を以て適任者とすへし尙同氏轉任後の營務處總辦は錢學政局總辦兼接すへく警務處總辦の後任は本日迄の所未た確定したるを聞かす

▲婦人協會　此頃に至り漸く体裁を爲したり會長は前田茂子幹事河野ナツ林サキ堀田クニ武津タカ杉尾ヌイの諸令夫人にして會長を除き他は謂所料理店の女將なり目下會員として事務所に掲けられたるもの二百六十名則ち各旗亭に於ける內緣の妻妾を除き純粹の未婚非處女連中なり今日の事業としては健康診斷あるのみ故障あるもの受診者中約一割弱にして子宮內膜炎最も多しと以て男子の痲疾多きを證據立つへく以て彼等洗滌の不行屆を證據立つるを得へし一面建康診斷擧行と共に各旗亭に於ける衞生取締設備の嚴行を望んて止ます尙は出來得へくんは協會は協會として建康診斷處のみは小西邊門外になりとも單に日本病院としてありとも別に設置されんことは協會の名を惜しみての余の希望也

▲淸語講習會　は已に數日前より授業開始し居れるか現在生徒約三十名ありて尙續々入學者ありと而して仝講習會へ出席する會員には夜間城內の通行券を携帶するを得へき由なれは城門外居住の邦人も支障なく出席勉學するを得へしと云ふ

▲十間房と盜難　緜匪馬賊はけたし滿洲の名產なり當地方大部隊の匪賊叫號するもの なきも小賊頻々として奉天停車場附近十間房邊にては邦人の盜難に罹るもの每夜の如しと云ふ同所は將來の居留地域なるへく現に已に邦人の居住するもの日に多きを加へつゝある今日每夜の如く强盜出沒の危險ありては邦人發展上面白からさるのみならす折角居住計營せる邦人の爲め實に等閑に附すへからさる問題なるへし頃日來同地居住者相議して邦人一名淸人一名を雇入れ夜警をなしつゝあるも二名の夜警位にては充分の功を奏すへくもあらす其筋に於ても頗る焦慮の結果近日適當の施置あるへき由なり

▲當地旅館の料理店決議　當地旅館料理店組合にては我利〻〻の評議員に於て宿泊料理代を議定して特等十圓一等七圓二等五圓三等三圓晝食特等四圓一等三圓二等二圓三等一圓五十錢會席特等五圓一等四圓二等三圓三等二圓肴一品一等五十錢二等四十錢三等三十錢酒一本二十錢ビール一本六十錢位と法外の高値を貪らんと試みたるも軍政署は之を認可せさりしとなり當地に於ける旗亭としては美人も多くまた家屋も新築中の金城館を唯一とすへきも價格の法外に高値なるも第一等なるへく右決議の如きもけだし組合副會頭になる金城館主の音頭取りなりし由

▲滿倉支庫の不用品入札　當地滿倉支庫にて本日不用品中淸國粟等の競爭入札を行はれたるか粟一石五圓五十錢籾粟一石二圓八十錢稗一石一圓十二錢九厘にて淸國人に落札せりと云ふ

商況

▲亞鉛板　波形は目下材木の賣行と共に相應の賣行あり氣合は甚た良好の方也、平形は波形程の賣行はあらさるも依然として建築以外の諸細工用に弗々賣行きつゝあれは氣合も亦た惡き方にあらす目下の相場は平形一枚一圓廿錢より一圓三四十錢迄、波形一枚一圓四十錢より一圓六七十錢迄の間に在り尙は品物は大部分は支那商人の手に在り而して日本人にして持ち居る者は飯塚工程局、捌荷洋行、喜久洋行等なりと云ふ

▲味噌　結氷當時の在荷は目下尙は八分以上も賣れ殘り居れ、は品物は潤澤の方なるも之れに引かへ賣行は殆んど絕無の姿なれは商況は頗る不振也尙は本年に入り多賣れ行きたる品は一樽五十錢以上八十錢位の腐敗物にして之を買入れたるは主に支那人なるか凡て肥料に使用せしなりと云ふ

▲醬油　結氷時代の在荷中最下等品は一月以上三月頃迄の間に於て、牛莊及海城附近の支那人の手にて大部分買入れられたれは目下殘留する品物は頗る少きも上物は今尙は依然として其儘の姿にて僅に市內の必要額丈けを減せしに過きす、尙は市中の需用は引續き弗々は之れあるも奥行は殆んと皆無なれは商況は不振い方なりと云ふ

▲ビール　在荷は邦人にも將た淸商にも相應にあるも奥行は大抵大連品の占領に係り唯た市中に於て少々の賣行ある位なれは氣合は餘り强からすと云ふ因に奥行の品が大抵大連より引かるは營口の在荷に比較すれは大連の品物は一箱に付き四五十錢方も安きか爲なりと云ふ

▲刻煙草　戰爭中軍隊に賣込の目的を以て輸入せし品物非常に多數に達し今尙は大部分殘存せるも日本に持ち歸るには驚くへき高率の稅關を仕拂はさる能はすされはとて滿洲にては捗々しく賣行す持主は目下一体に閉口しつゝありと云ふ尙は其の相場は可なりの品にて百匁四五十錢位なりと

投書かご

▲豫定居留地の春帆樓の摸範家屋は餘程出來上つて居るが廣い野原に獨り法師で立つて居るのは心細い他の家が建ち揃ふ迄には根石が腐つて了うだらう（遠乘生）▲河豚を喰つて公樂園の板場が死んださうな斯ういふ危險な代物は市場で賣るとの出來無いやうに軍政署で是非に取締を願ひたい（生命大事生）▲澤龜は愈々五月一日から店を仕舞ふさうぢや一葉落ちて天下の秋を知るといふが吾人は今正に其感に堪へ無いのである（悲觀老人）▲此晦日には隨分料理店の頭痛鉢卷なのが多かつたやうである五月には屹度棄賣見切賣が大に始まるだらうと思へば頗る氣味がよい（穴惟坊）▲軍票の安かつた頃は市場に支那銀貨を藥にしたくも見られ無かつたが此頃の多いとと來たら迷惑する程澤山に流通して居る併し自分に未だ甞て迷惑する程何處かにも受取つた事が無いのである（官投見）▲第一市場方面の〇〇洋行の番印は甚だ不都合千萬の奴ぢやスペツシヤルビール一箱買つたら一打の不足なの〇〇洋行に掛合つたら番印大立腹右樣の事は自分の店には毛頭無いなど〻頗る熱を吐いたが其時は證據が無かつたので泣寢入りで別れたが其後も又一箱買つたから面前で改めて見たら今度は六本の不足であつたので番印今度は平謝りに謝つたのは愉快であつた同店の番印は獨り自分のみならず他の方に對しても常に不敬の言を吐く此不景氣の折に斯ういふ蠻印の商內は御家の爲めでありませんぞ（忠告人）

小說

新作小說　おとし胤（五十一）

德田秋聲

秋の夜は、良闌けて九時に近い。月は尙お登らぬ大空は、星斗闌干。銀河微に見えて、地上の草の葉には、その雫が滴ツてか、もう露が宿ツて薄光を放ツてゐる。うすら寒い風は、その白露を吹いて、蟲の聲は喧しい位。此の築山の上から見ると、本家の西洋館の窓から射してゐる火光は、かツきり灰色のうす霧を斑つけてゐる。

「光、寒くないか。」

「い〻え。」

築山の上の亭の中から、此のしめやかな聲が聞えた。聲は低いが、四下が寂としてゐるから、冴えて聞ゐる。

「其方はもう、十七になツたのぢやの。」

「あら、阿父樣、何度お聞き遊ばすのでございます。」

少し高調子である。

「む〻、然うだツたかの。」

マツチを磨る音がして、パツと閃く火光。その火光に映ツて、微笑むだ、艱しい海鹿子爵の顏が見えた。海鹿子爵は、葉卷煙草に火を點けたのであツた。

「好いの、何んといふ靜なことぢやらう。何か生れ變ツてゞも來たやうな心地ぢや。葉盡きて孤村に夜燈を見る……か。孤村ではないが、その〇があるの。」と獨語のやうに謂ツて、「光、見い。那の村の灯を……」

「眞ンとに奇麗でございますこと。」

「恰で星のやうぢや。あ〻、好い。今夜位氣持の好いことは無い。殊に今夜は、此の邸のうちに那の病犬が居らんかと思ふと……」

と謂ひかゝツて、ふと口を噤むだ。

「那の阿母樣は、大層お遲うございますね。何方へお越しになツたのでございます。」

「何處へ行ツたかの。那奴が居らんと、俺の心ばかりぢやない、實に此の邸內までが平和ぢや。あ〻、今夜は實に好い氣持ぢや。」

光は、何んとも謂はなかツた。少時言が途斷れてゐた。

海鹿子爵はまた、心から快げに、

「俺は實に、二十年ぶりで、此樣な愉快を感じる……何んだか昔に復ツたやうぢや。な、光、出來ることならば、其方と兩人で、何時までも其樣な風に生活したいの。む〻、其方は、然うは思はんか。俺と兩人で此うして靜に暮したいと思はんか。」

光は、無言である。實は、何んと應へて好いのか解らなかツたのである。光は、父が身に代へて自分を愛してゐることを知ツてゐる。けれども、此の邸の人となツてから、もう半年になるが、此ばかり優しく、此ばかり馴々しく父から話しかけられたことが無かツた。されば光は、よし少淡いにしても、此の時始めて眞の父の味を知ツた。

返事が無かツたので、海鹿子爵は、幾か氣抜がしたらしい。微な歎息と共に、急に頹然して、少時何事か沈思してゐた。其處らは一段と靜になる。

少時してから、海鹿子爵は、

「光。」と沈痛に呼掛けて、「其方は、母のことを知ツてゐるか。」

「阿母樣と申しますと？…………」

「故鄕のさ。」

「故鄕の…………　故鄕の阿母樣のことでございますか。」

「然うぢや、祖父樣に何か話を聞いたことが無いか。」

「ございません。」

「誰かに何か聞いたことが無いか。」

「い〻え。」

「然うか。」と謂ツたま〻、また少時考へてゐて、「其方は、阿母樣に逢ひたいと思はんか。顏が見たいと思はんかの。」

「そりやお目に懸りたいことは、お目に懸りたいのでございますけれども…………」と光も、しんめりとして、「お墓の下に在ツしやるのでございますから、とても…………」

「然うぢやの。それで何か、其方は故鄕に居ツた時分墓詣をしたか。」

「はい、每日朝と晩には、きツとお參詣を致しました。」

「然うか。」と海鹿子爵は、悅しさうに謂ツて「それは、好く爲たの。感心ぢや感心ぢや。これからも何んぢや、母のことは忘れてはならんぞ。母は、實に不幸な女ぢやツた……　俺も不幸ぢやが、織江は猶更の…………」

暗涙に咽ぶか、聲が、かすれた。光も何んとはなく母が懷慕しくなツて胸が塞ツて來た。眼下の村の林の蔭に、仄に明味が射した。月が登るのである。

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開車 午前 點分	開車 午後 點分
新民屯至溝邦子	上 六、〇〇	上 九、五七
營口至山海關	上 八、二〇	下 六、〇〇

▲下行車時刻表

車站名	開車 午前 點分	開車 午後 點分
北京至山海關	上 八、〇〇	下 六、二〇
北京至天津	上 一一、二〇	下 五、四一

諸鐵工製作

萬國演說會廣告

天氣

營口地方天氣豫報

自一日午後六時至二日午後六時

廣告

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す

院長　醫學得業士　森嬌

副院長　醫學得業士　長船郁太郎

(産婆大道しげ子)

●●●一本院齒科開設●●●
(五月一日より開始)

齒科醫　兒島市郎

森病院　(電話一五五)

●廣島縣人親睦會●

候は春光燦として邦土には今や百花の爛熳たる、滿洲に在て觀るに由なく終日俗塵萬丈の巷に馳驅し役々勞作するもの是れを在滿の人に於て見る此際此時吾縣人一堂に會し以て親睦の宴を張り疲憊せる腦底に慰藉を促すと共に已に現下に迫れる平和の戰鬪に對する善後の策を研究するの又從事に非さるを惟ひ茲に此事あるを致す幸に我縣出身の志奮て御參會あらんことを希望す

會場　營口河岸通り　日營ホテル

期日　五月十日午後四時

申込所　會場たる日營ホテル　永世街二本町　川本活版所

申込期日　五月八日正午迄

會費　銀貳圓　但會費は申込の際持參の事

明治三十九年四月　日

發起人　一同

社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局
鐵嶺南門內　東雙泰
安東縣新市街　東華公司
新民府　泰東公司

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南憲第三十六號

北斗洋行質屋部

御料理

板場新來了料理は高尚ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ雪月花ノ會席ト仕餘ハ御意ニ從ヒナンデモデス ビガイ、グンシン

新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます

まつのや

御客樣方

まつのや藝妓　ふで
仝　松吉
仝　二〇か
義太夫　牛荘

開業廣告

日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

月　日

元神廟街二四八號(電話局向)

義安公司

大阪商船會社荷客取扱所　輸出入稅関手續　外國船舶代理業　貨借仲立

解船人夫運搬請負　諸品委托賣買

水陸運送貨物仲次所　倉庫業

瀛船出帆案內

摩耶山丸　五月二日出帆門司神戶行
潮洲丸　本日入港豫定
汕頭丸　五月五日　門司、神戶行

御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尚御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

西北街　德重洋行

風景佳絕、旅館、料理、遊技完備

滿洲第一 湯崗溫泉

效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡

營口○—大石橋○—海城○—□湯崗溫泉仝停車場—遼陽○—奉天○

出張所閉鎖廣告

淸酒商標　鳳凰正宗

客年弊店開設以來各位より多大の御愛顧御引立を蒙り所員一同感謝之至りに奉存候以御陰此處に計畫通り全部賣捌濟と相成申候に付來る三日限り當出張所閉鎖店員一同引揚可申候右に就き一々參堂親しく御禮可申上筈之處乍略儀以紙上御禮旁〻閉鎖廣告候也

明治三十九年四月　日

營口元神廟街甲第二三四號

本[illegible]馬營口出張所

兼て各位より御愛顧を蒙り候靑円酒鳳凰正宗は今般當店に於て特約一手販賣致候間何卒倍舊の御引立の程奉希候也

明治三十九年四月　日

大連市信濃町　河又出張所　謹白

新着

椅子、卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

和洋雜貨

盛進商行

本行開設已週一載幸蒙貴客商賈顧接踵購買致徼行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也此啓

(雜貨商)

(元神廟街)

天墅洋行

(電話百三十七番)

M. Iizuka,

Contractor,

Architect and Civil Eginneer.

——

Plans and specifications made to order.

Estimates submitted.

Moderate rates.

No. 151 Yuwansinmiao

Ying Kow

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、
一萬醬油、白米、上等鰹節
一罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盜、コノワタ、
一淸酒澤龜特約、並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、

其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度伏て奉願上候也

營口永世街第廿八號

雜貨商　大原洋行

梅毒婦人科　外科胃腸病

全身魔醉局處魔醉嶄新器械無痛手術

專門日本醫院

輕便入院

永世街警務課ノ前

大連市監部通二丁目五百廿五番地

高野孟矩法律事務所

但高野孟矩不在の節は辨護士戶口茂里代て事務を扱ふ

東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河內町一丁目六十七番地

追て當事務所々作の地は勿論仙臺名古屋靜岡橫濱宇都宮神戶廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依賴に可應候

古料理

滿月

平野町(電一六二)

滿月支店

平野町入口

店主　青木勝惠

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理をも始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊ひを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候

營口二本町

店主　田村瀧太郞

梅廼家

東亞同文會發行

前露淸語學校長　中野一郞　同講師　縣文夫　合譯

露國大藏省編纂

滿洲通志

洋裝八百頁○定價金貳圓八拾錢○郵稅　內地五拾五錢　淸韓卅五錢

特別割引(一千部ニ限リ金貳圓五十錢外ニ郵稅)

精密滿洲地圖及重要統計表入

本書ハ露國前大藏大臣「ウヰツテ」氏ノ監督編纂ニ係リ露國滿洲經營唯一ノ典經ト稱セラル

本書ハ各種專門學者ノ調査研究ニ成リ材料豐富觀察周到敍說正確滿洲ノ情一讀炳然タリ

本書ハ滿洲ニ關スル多クノ著書中世界無比ノ良書トシテ政治家學者實業家ノ稱贊スル所也

發賣所　東京京橋銀座一丁目　大阪東區北久太郞町　大日本圖書株式會社

大連 東洋ホテル

大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

孔雀印

平野水

孔雀印平野水は既に製品相整へ申候に付季節も切迫仕候得者續々御注文の程願上候也

製品は一合二合四合三種有之御好に應じ申候

大阪東梅田　合資會社　孔雀商會　(電話東　四九〇)

大阪孔雀商會

淸國の情況を知るは現下の急務なり淸國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ

支那叢書　第壹編

支那政府組織　全

軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ

販賣所　營口重盛街　滿洲日報社

稅關手續

一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管
一、日本郵船部、回漕部
一、爲替附キ荷物ヘ便利ヲ計リ可申候
一、引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候

市場北三階樓時計店ノ二階

宮原公司

第四六八	シユチンカタウラ	一枚
第三八二	中巾チリメンヒシコキ	一節
第三九三	銀カワ時計	一個
第二八六	白米四斗俵	一俵
第四七六	サツマカスリ	一反
第三一九	十八金マカイ時計	一個
第四〇五	新ヲメシ	一反
第七〇六	朝日ビール	一折
第三〇四	コウモリカサ	一本
第二七五	ユカタ	一反

抽籤の結果左の番號當籤仕候間何時にても景品引替可申候

五月一日

翁亭

元神廟街憲甲第二三〇號 宅合名會社支店

當店義都合有之本月限リ閉鎖仕殘務ハ現在店後方左側ノ樓上ニテ取扱候間爰ニ從來ノ恩顧ヲ謝シ此段廣告候也

宅合名會社 營口支店

閉鎖廣告

御愛顧ヲ以テ一昨年來特ニ名聲ヲ博シ候清酒澤龜印ハ從來ノ特約店ニテ一層勉勵販賣仕候也

西分行貿易部ハ此際擴張仕左ノ名義ヲ以テ老爺閣街同盛德院ニ內テ引續營業仕候間是又一層ノ御眷顧奉願候也

明治三十九年四月廿五日

宅洋行

胃腸病新藥

滿洲特約一手販賣

東瀛大藥房 營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹瀉脚軟心驚婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓効

發明者日本醫學得業士 矢島猴太郎 謹白

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はす和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一

土木部主任技師 永原万吉

營口元神廟街第百七十二號(電話一七三番)

土木建築請負業 井上公司

萬代不朽毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり

リサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店

營口元神廟街第百七十二号(電話一七三番)

井上公司

大日本政府特定

營口付紙捲煙草

滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

銘酒 白鶴

諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣價より壹割引段より酒及米、鑵詰類は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街 井門洋行 電話一八五

遼陽西門外 仝支店

日本有名秘藥物發售廣告

婦人用香水髮油及一切藥料以上各貨價値從廉者允格外克己以廣招徠凡在日本內地士商購買無論零賣整買均可顧者請即速臨本店否則以德律風問 大阪谷回春堂 營口永世街回春堂滿洲總售處警務課司法部東隣 此告白

三木天洋堂 大藥房行 (電話百九十番) 啓

大日本帝國有名方劑

化粧品一切賣藥 卸小賣

大阪谷回春堂 營口永世街回春堂滿洲總售處(警務課司法部東隣)

電話にて御注文被下候へば直に持參可仕候 右內地と同しく萬事御便利を以て小賣可仕候 多少に不拘御用命被下度奉希上候

三木天洋堂 大藥房行 (電話百九十番)

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等

一日本石炭數種

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

(電話百三十五番)

東營口西北街

裕和盛

電話八一番

東清鐵道 遼河

貨物運送業

雜貨商

新荷着

朝日ビール 日本酒澤の鶴

洋酒、食料品

和洋鑵詰、食器

內外煙草、葉卷

エジプト、文具

化粧品、金物類

肥前白米、醬油

酢、木炭、其外色々

御並に小賣

彩票

每月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣

本店 長崎

支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

發賣 材木 椽子 木板

塩川商會

清國營口二本町二五五號

主任 鹽川峯吉 (電話三六番)

遼陽小西門內 鹽川商會

●建築用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘

外に電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

關內外蘆漢鉄道貨物運輸(但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候)

一海關手續(但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱)

一鈔關手續(但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱)

一船舶貨物取扱

一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大淸通運公司 營口支店

萬事勉强乘車乘船好位置

營口中央市場前

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎 (電話百七十八番)

西洋料理仕出し御需に應ず

御席和洋料理 東京樓支店 (電話四十四番)

御披露

今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候

月 日

鐵嶺西門外火神廟六十一號

支店 高砂ホテル

會席料理 三日月 營口警務課前南に入る

稟告

弊樓儀營業以來日尙淺きにも拘らず各位の御引立に依り益々繁榮仕候段難有奉鳴謝候就ては今般弊樓向側木村旅館を讓受け居室を修繕し料理萬端大に改良を加へ旅館營業仕候間弊樓同樣御引立を蒙り度此段偏に奉希上候敬白

月 日

營口永世街五十七號

三日月樓主

和洋御料理

一力

舌代

弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め內地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候

樓主 敬白

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候陳而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候

營口二本町 敬白

祇園閣旅館部 主人 (電話一四四番)

各位

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一(森病院三軒目)

(電話百二十七號)

マニラ製、エヂプト製紙卷烟草大販賣所(第一市場南側)

當店に於て販賣致候葉卷烟草及紙卷煙草は每二ケ月直接「マニラ」及「エヂプト」より輸入の新荷を以て悉皆引換へ全く新鮮の品より外販賣不致候間一層の御愛顧を給はり度候

尙賣殘りの品は新荷と入替の爲め二ケ月每に競賣に附して賣却可致候

エン、マリボールド

時刻
唐山至天津 上六、一二 上一一、二八
塘沽至北京 上六、〇〇 下三、〇六
天津至北京 上二、〇〇 下五、二〇
山海關至北京 上八、〇〇 下六、四五
天津至山海關 上六、二五 下六、二一
唐山至山海關 上六、〇〇 下一一、五八
山海關至營口 上七、〇五 下一、五五
溝邦子至新民 上三、〇〇 下六、五七

土木建築用鐵材料 其外雜物諸般

門會 街東 喜場
演說務祈諸… 五點鐘以前早爲駕臨 此啓

報
氣 晴
最高溫度七十…度 最低溫度四十六度〇…

宮門抄

初四日 戶部 宗人府 正白旗值日 宗人府引見十四名 戶部五名 翰林院十八名 內務府三名 敬昌假滿請安 善豫請假十日 都慶恒啓伺候 召見
召見軍機 多普沁多爾濟 都慶 恒啓
財政處 李灼華遞封奏各一件

上諭恭錄

初四日奉
上諭此次 東陵 西陵內務府京察一等覆帶引見各員除文蔭毋庸記名外連璧富基均着記名以關差道府用欽此
上諭袁世凱奏遵旨校閱陸軍第二鎭一摺據陳此次校閱各項情形頗屬精嫻成效漸著深堪加許仍着練兵處王大臣等督飭認眞訓練力求精進月異日新逐漸擴充悉成勁旅用副朝廷修明武備振厲戎行之至意餘着練兵處妥核辦理欽此

奏議

戶部奏議覆兩淮鹽務各局卡交代期限章程摺
奏爲遵 旨議奏恭摺仰祈 聖鑒事內閣抄出署兩江總督周馥奏酌定兩淮鹽務各局卡交代限期章程一摺光緒三十二年二月十八日奉 硃批戶部議奏欽此欽遵到部據原奏內稱兩淮鹽務關繫江南財政大局各岸局卡總辦果能緝私得力疏銷暢旺自應久於其事以收成效臣於上年七月奏定各局總辦考成如果一年限內銷足新增比較額數即准留辦一年溢銷一成以上酌給外奬二成以上奏請從優奬敍短銷一成以上即行撤差二成以上停委一年三成以上停委二年四成以上即行奏參等情嗣後各局總辦更調應仍查照前奏辦理惟各局卡辦理交代向祇册報鹽政查覆從不報部亦未定有限期往往遲至半年以外始行結報墟務各欵與錢糧並重豈能漫無限制擬自光緒三十二年正月爲始定爲正限三個月作爲初參由前任總辦於一月內將交代正雜各欵存墟數目造册移交後任於兩個月內逐款核覆如果欵目及墟數相符經收支解有據並無虧短情事即行接收清楚具結造册送由運司覆覈加結詳請咨部如日後查有虧短漏交濫抵惟經手之員是問除去程限運司應定爲覆覈日期一個月如叅限內因欵目糾葛未能依限結報應先查取遲在何任職名詳請咨叅照例議以罰俸一年即從初參限滿之日起無論款項多寡再行展限兩個月作爲二叅倘再逾限不結或有虧空據實揭參議以革職至交代欵項前後任每有因交代而有爭執之事應委鄰近局卡之現任道員爲監盤令其三面集算秉公核斷倘無理固執即行揭參以期速結至分銷各員既由督銷局總辦道員自行委用倘有虧欠即著落該督銷總辦全數賠繳統歸總辦交案結算不得剔出另算以專責成而重公款其光緒三十一年年底以前接差之員應接交代由臣核明批結免其報部等語查臣部前於光緒三十一年五月議覆臣鐵良奏查明兩淮墟務情形摺內擬請各岸局員應嚴定交代一條內開兩淮各岸督銷掣驗各員交代向不報部應令明定章程無論總棧局卡各員遇有交代由該督核明依限造報一面造具册結送部備查其分銷各員由督銷自行遴委倘有虧欠即著落該督銷全數賠繳等因復於是月奏請嗣後各局卡督銷掣驗各員或應更調或應留辦先由運司比較運墟分數出具考語由墟政覆加查考分別奏請撤留其交代欵項亦由運司會同核算加結報部等因先後奏經奉
旨依議欽此欽遵恭錄各行在案茲據該督將兩淮墟務各局卡交代期限酌定章程具奏臣等詳加察核除所擬總辦考成一年限內溢銷短銷成數分別勸懲各節係屬申明奏章應令切實考核毋得徒託空言致令日久生玩其所擬交代初參二參期限遲逾虧空各處分以及前後任交代委令鄰近局卡之現任道員監盤三面集算秉公核斷具結造册送由運司覆覈加結詳請咨部各節辦法尙屬周密又分銷各員虧欠即著落該督銷全數賠繳統歸總辦交案結算不得剔出另算一節係爲專任責成起見亦屬簡當易行均擬准如所奏辦理惟所稱三十一年年底以前交代免其報部一節查臣鐵良前奉
恩命清查兩淮墟務款項係截至光緒二十年七月底止其自三十年七月以後各岸局卡經徵正雜各欵及運墟銷鹽各數目尙未據造報部若交代各案斷自三十二年正月爲始則首尾不相連接必致欵目紛歧不足以資稽考所有兩淮各岸督銷掣驗各員交代在三十年七月以後者應令一律將經手收支各欵帑運銷引數分別開列簡明四柱造册加結送部以便稽核而重庫儲所有遵議緣由理合恭摺具陳伏乞
皇太后 皇上聖鑒謹 奏奉 旨知道了欽此

東京電報

●凱旋陸軍大操之盛況 本日於青山練兵塲擧行凱旋陸軍大操全國各師團軍隊之叅加者四萬八千人中外文武臣僚之陪觀者約五萬人實爲未曾有之盛觀於該式上 日皇特賜勅語於參列將卒大山總師即捧讀 諭旨宣示全軍云（西四月三十日發）

中外要聞

●德使演說俄德之親好 駐俄德使封賢氏近於德人讌會席上演說曰吾德國之於俄國依然睦誼極爲深厚且俄國成信亦尙未失墜縱有內外多少變亂而防壓非難毫未見帝國基礎被其動搖者吾德國與俄國或于商業或于政治皆情誼密洽關係尤切是爲兩國民人之慶幸吾皇帝素與俄皇有不易之情好將來兩帝國之交情彌形親厚其有所貢獻於文明者必非淺鮮疇昔夜會之御宴吾使臣恭蒙俄皇寵召叨侍清斑酒至三巡之後俄皇躬親擧爵屬于吾使臣並宣曰朕謹祝德意斯皇帝普魯西王維廉陛下之健康陛下實朕善愛之兄弟而親信之朋友也等語按德使斯言一時爲新聞報紙所傳載壞國政治界之人覽之亦頗有猜嫌之意云蓋外交之事一顰一笑皆不許苟簡疏慢也
●慈宮厚贈內田夫人 皇太后因此次內田夫人同欽使回國於初三日特派那琴軒中堂奉 慈容一片御筆一福抵日本使署贈于內田欽使之夫人以誌餞別
●外部宴三國欽使 外部堂官初三日午刻設席於慶王府恭請日使內田康哉君英使薩道義君法使呂班君及日英法使署頭等參贊官繙譯官各一名公宴以誌餞別自慶邸瞿協揆及聯唐侍郎其餘大員均赴席接待款洽賓主盡興而散

雜報

●嚴拿高贊曾匪 日前直隸所屬之高邑縣匪徒勾結贊皇縣廟僧焚香聚衆定期起事已由保定派兵前往彈壓一節已誌前報茲悉現已拏獲匪徒一一人均解至天津審訊現高邑贊皇一帶均已平靜惟匪首陳老傑逃遁尙未緝獲刻由袁宮保札飭全屬一律嚴拏務獲以除禍首而安閭閻
●電調劉道赴黑 直隸候補道劉雲門觀察前由北洋大臣派充漠河金礦總辦現黑龍江程將軍以黑省交涉需員佐理劉道前在黑省於礦務事宜頗稱熟悉刻有電致政務處請調該員赴黑以資襄助並希飭下北洋大臣飭該員速來黑省云
●海魚遷地 昨聞南來人云靑泥窪海港內外向年春夏盛產黃鱗及帶魚等類漁舟販船每用林集該處商民亦藉增生意近數年來出魚較少詎今歲今春竟若產魚移往他處有終日擧網不得漁者以致海市大爲蕭索云
●行車折輻 昨午後有一裝豆袋之大車至大官塘北沿誤將東洋車碰倒觸斷車輪二人爭論互相毆打幸有來往行人爲之勸解車戶出洋一元以作賠資云
●奉還遺物 有一牛莊客人李姓者至春仙茶園看戲在門首鮮果床遺下子錶一具夜晚回寓不知失落何處次日午前又至該床尋覓當將原物奉還李姓出洋一元以爲謝儀云
●漁業公司將收魚稅 奉天沿海一帶鮮魚向無捐稅蓋恐遷延時日易致腐敗有害衞生先年曾有猾胥思請創立魚稅沿海戶屢起風潮是以迄未徵稅相沿至今昨聞官塲人云有黃金山太守者現承趙軍師之命總辦魚業公司實爲保安漁業防剿海賊起見傳聞擬由渤海北岸一帶奉天所屬各海河口岸一律徵收魚稅藉籌保護漁業購船置械養兵等費云

叢談

●討巡警總局某委員檄 爲委員某氏者專趨勢利一味糊塗昔充候補窮員曾與沙保丟眼暨入總局穢積陰功祇知體面之榮不顧刋評之謬爲靴紅帽坐公堂專好裝腔㩻帽操衣睇學校總唔在眼曲意保全兇手大聲恫嚇學生加以强令和平硬監具結威生拍案話要留人非屬聽情即爲受賄社會之所同嫉政界之所不容猶復逞已私威擺其官架嗤聲冷笑謂隨宦我亦有人嚴密關防使司閽不容通報嗚呼官塲之黑暗已極民氣之發達何期學堂且然他處更不可問學生有此餘人更屬何堪僕等學界同人報館記者以毛錐之七寸作毛瑟之三千廣佈傳單定期會議明倫堂之打開良有以也學務處之稟告豈徒然哉用昇大聲疾呼嬉笑怒罵作政府之監督持天職之特權爰草檄文通知大衆聯同十府結合九州各以熱心出其死力援引法律問官之口立窮大快人心凶手之誅不遠團體立而風潮起死刑布而日月明暗呼則萬衆同心挽救則一羣出力以此助學何學不興以此鋤奸何奸不滅公等或居商界或列搢紳或目擊而不平或耳聞而共憤事猶未往律豈容寬七寸之錦逞凶五尺之童何罪倘能挺身任事仗義執言共伸法紀之嚴無俾案情之枉凡我族彙均表同情若其忍隱不爲徘徊坐視不去酷吏之害必貽國族之憂請看巨個優差重當得埋幾日

NEWCHWANG, WEDNESDAY, MAY 2 1906.

The Rev. Mr. Sprent, in his sermon of last Sunday, went on to refer to the death of Lazarus and how Jesus raised the dead, enumerating then "many stones of stumbling-blocks of offence which hinder men from rising to new and better lives"——"the stone of ignorance," of "a fake idea of religion" and "many others which we should remove out of our brethren's way." "We can help one" continued he, "to a moral and spiritual resurrection by clearing the way but Jesus alone, who is the Resurrection and the Life, can say to the sinner in the grave of evil "Come forth."

Then the preacher touched upon the recent visitations in Italy and America, gliding over to the ruin of the ancient Pompeii and concluded his sermon as follows.

"During the last week or so our hearts have been stirred to their depths by the news of earthquake and fire and our sympathy has gone out to those sufferers and to those in suspense.

Vesuvius and San Francisco have reminded us of Pompeii.

When this buried city was discovered, after hundreds of years, it might be called a resurrection. The houses and the people were seen just as they were when death came down on the doomed city.

There were people engaged in committing horrible sins. There were those whose hands were writing vile words on the walls when death arrested them. There were the murderer, and the adulterer, and the thief struck down in the very commission of their sin. And now they appear clearly to the eyes of all men in a ghastly resurrection.

Pompeii and its people were not destroyed when the fires of Vesuvius descended upon them, they were preserved unto the Judgment.

Good or evil those who were sinning, and those who were doing their duty, remain as witnesses to the end.

There stands the soldier faithful at his post. There stoops the mother trying to save her cuildren at the cost of her own life, there kneel the lovers hand in hand before the priest in marriage.

So will be the resurrection of the last day: we shall rise with our bodies, and give an account of the deeds done in the flesh: some shall rise to joy and felicity, having lived and died trying to do their duty: others to shame and contempt, reaping through eternity the evil they sowed in time."

Gen. Chu Ching Lan (朱慶瀾) in command of the cavalry and infantry of the Sui-ching Regiment, Tienchwangtai, is going up to Mukden this evening with an escort of 32 men, presumably to pay his respects to Mr. Yuan Ko Ting, the new Chief of the Provincial Army Office.

Mr. H. A. Bush and his brother Mr. C. G. Bush are reported to have left Shanghai by the s.s. "Liangchow" yesterday and to be due here next Friday.

We are informed that Mr. Roland Bandinel who left for Tientsin last Monday morning has been transferred to the staff of the Tientsin Branch of the Russo-Chinese Bank. His open candor and genial disposition made him an acquisition to the social Newchwang which will miss him very much. We wish him every success.

THE LATEST TOKYO INTELLIGENCE.

The American Government has courteously declined Japan's offer for dispatching a hospital ship, at which the proposition has been dropped. The Japanese Government has remitted offhand Y. 50,000 by telegraph to Consul Uyeno at San Francisco to apply prompt relief to the Japanese destitute in the afflicted district. Prince Henakon (?), the Commander-in-Chief of the Siamese Army, and Marquis Ito separately arrived in Tokyo on the 27th ult., to attend the Grand Military Review. At a gennral meeting of the Oriental Society held on the evening of the 27th ult., the British Ambassador, the Chinese Minister, Count Okuma, Mr. Hayashi, ex-Minister to Seoul, were present among many other distinguished personages. Sir Claude McDonald enlarged in his speech upon the present importance of bringing the West and the East into a harmonious union, which may be attained in his opinion only by reciprocal good will and mutual adherence to justice. Count Okuma reminded his hearers that time had come for the Japanese to harmonize the Western civilization with that of Japan and to further develop the blend. This, if realized, would contribute much, as the Count believed, towards maintaining the peace of the world.

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館料理 第一樓 營口ホテル 元神廟街九十六號（電話八四番）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル

料理 高砂亭 西北街 店主片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五二） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號店主前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百弐十九号 店主 和田常松

和洋御料理 公樂園 南永世街

東京生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館料理 金城ホテル 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主齋藤富次郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 叮嚀專一 柳亭 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理並ニ溫泉 一力 毎日街湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信大益

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案內

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話二五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號） 奉天小西關大街北側

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西門通（元紅葉館跡） 溫泉付大勉強キレーデヲイシヒ（電話 號）

旅館料理店 日の出樓 奉天小西關大街南側 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 館主 入江熊男（電話 號）

旅館料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

御料理旅館 高砂館本店 奉天十間房第十五號
奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上

高砂館支店 奉高館 奉天城外廿四號 店主 宇本智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話 號） 主任 藤島初野

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉強館 奉天小西關外北長發園隣

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉すき燒 雞肉 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

旅館料理店 旭館本店 奉天小西關 旭館支店 奉天十間房 館主 原田新吉（電話 号）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團挹

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御汁文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号 上松榮治郎

遼陽城內東街
一和洋御料理 遼東館
本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては識、御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館 御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

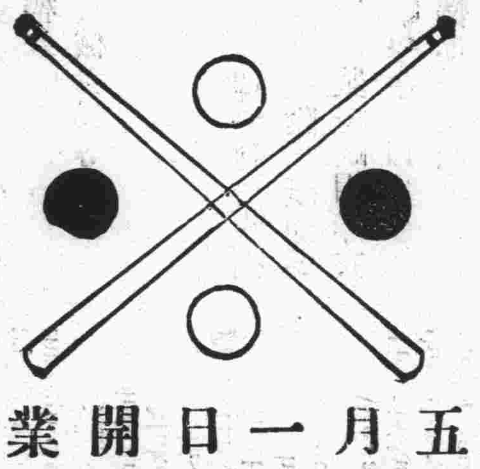
奉天小西關新來當街々 御料理本店 金城館（電話十九）
奉大小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話二〇）
營口永世街 御料理支店 金城館（電話八三）
營口世街 御旅館支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理支店 金城館
大連市吉野町 御旅館支店 金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる樣一意相勉め申候
猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとて一言申添置候

各位樣
和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）

業務擴張
弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉強仕高需に應し可申候條尙不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具
活版印刷 弊所特製に本
●印刷鮮明 ●價格低廉 ●叮嚀專一 ●期日正確
營口入永口世街東二本角町 川本活版所

美味安價西洋料理 牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣



五月一日開業
東京新臺到着
今回主人直接東京へ出張無類の好臺を手に入れ參り候間何卒御來遊奉願上候
九月六日玉大競技會
元神廟街 第一軒（第三樓の向横町）

着荷廣告
筑前博多單帶、仝伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、輕便水漉器械、洗桶、專賣特許米洗器、萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、等勝手道具いろ／＼
營口 加藤洋行（電話八十番）
四月十八日ヨリ仝廿八日マテ本社事務員全診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候
明治生命保險株式會社牛莊代理店 加藤洋行

第二回新荷着
恵比壽ビール YEBISU TRADE MARK 登録商標 DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN 大日本麥酒株式會社
金升洋行 盛進商行

為替相場（五月一日）
日本向 百圓に付 一圓（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）

日本品最近物價表 加藤洋行
一紙類 一半紙 一美濃紙 二圓九十錢より三圓廿錢 七圓五十錢
一狀袋 一濟圓 三枚組 二十枚續 百枚 室內裝飾品及寢具 三錢二厘以上四錢 十三錢以上十八錢 六圓九十錢以上六十五圓 矢野洋行
一疊 一滿 十枚 二圓六十錢以上三圓 一疊敷 八圓 三圓

MANCHURIA DAILY REPORT
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價 一枚ニ付 銀四仙 一ケ月前金 銀八十仙 半ケ年前金 四弗八十仙 一ケ年前金 銀九弗六十仙